

## 令和5年度 美郷町立西郷義務教育学校 学校評価

学校の教育目標 ふるさとを愛し、未来を拓く子どもの育成

段階評価

4 期待以上	3 ほぼ期待通り	2 やや期待を下回る	1 改善を要する
--------	----------	------------	----------

質問項目	児童生徒	保護者		教員	学校の自己評価コメント	自己評価	関係者評価	学校関係者コメント ○良い ●改善、◎意見
		義務教育	幼稚園					
1	あなた(子どもさん)は、基本的な生活習慣が身につけてきている。		3.4	3.8	2.8	3	3	<p>○今年度の取組は、積極的な歯科受診や「歯磨き指導」の実施により、虫歯治療率が顕著に向上したことが評価できる。また、児童生徒に対する広範な健康プログラムも一層の意識向上に寄与していると思う。</p> <p>◎健康探究学習の継続的な取組を更に発展させていくことが大切だと思う。</p> <p>◎後期ブロックは、健康探究学習を通して健康への意識が高いが、教師の支援により更に深められると思う。</p> <p>●前期ブロックの健康への意識が低いことや個々の体力づくりの取組に個人差があることは課題である。</p> <p>○学校の取組は、健康促進と運動の楽しさを結びつけ、児童生徒の総合的な発育に寄与している。</p> <p>○ひなた場では、自分の未来へのビジョンを明確にする等、地域と協力した有益な学びが展開されているとともに、児童生徒の意識の高さがうかがえた。</p> <p>○前期ブロックでは「名人集会」への積極的な参加や創意工夫した係活動が展開されている。</p> <p>●子どもたちが自発的に動くことができると、行動が自信に繋がっていくと思う。</p> <p>◎保護者との情報の共有化、あるいは目的イメージを共有することにより、児童生徒の成長につながっていくと思われる。</p>
	あなた(子どもさん)は、健康を意識して生活している。	3.0	2.9		2.7			
	あなた(子どもさん)は、体力づくりに取り組んでいる。	3.1	2.9		2.6			
	あなた(子どもさん)は、夢や希望の実現に向けて努力している。	3.1	2.9		2.8			
	あなた(子どもさん)は、様々なことに自分から取り組んでいる。	3.0	3.1	3.5	2.9			
	あなた(子どもさん)は、様々なことに粘り強く取り組んでいる。	3.1	3.1	3.3	2.7			
2	学校は、子どもの主体性を大切にした支援を行っている。	3.6	3.2	4.0	2.8	3	3	<p>○校内研究の取組が子どもたちの学習方法の幅を広げ、学習習慣を身に付けることに繋がっている。</p> <p>○生徒会や自治的活動を通じて地域や社会への貢献意識を育む取組がなされており、高く評価できる。</p> <p>○児童生徒が学校行事で語る内容を見るに、自分の経験や考えをよく述べられており、『主体性教育』の成果がうかがえる。</p> <p>●学習への主体的な取組への意識と実践態度向上が課題である。</p> <p>◎教師に導かれて活動していることと、子どもの主体的な活動との見極めが難しい。</p> <p>◎タブレットを正しく活用することで、情報モラル等が培われるため、将来につながられると思う。</p> <p>◎総合的な学習の時間では、新しいものを取り入れながらブラッシュアップして欲しい。</p>

3	学校は、子どもの学習改善に繋がる支援を行っている。	3.7	3.2		<p>○全国学力学習状況調査の結果、6年生(国・算)及び9年生(国・数・英)の正答率は、共に全国平均を上回った。</p> <p>○デジター教科書(画像音声教科書)の使用や視聴覚教材を授業で活用し、学習に困り感を抱いている児童生徒がスムーズに学習へ取り組める支援や知識の定着を図った。</p> <p>○常に児童生徒の様子を観察し、生徒の困り感の把握に努めると共に校内検討委員会を定期的に開き、個別の支援に取り組んだ。各学年担当・学級担任が特別支援コーディネーターとの連携を充分に図ることができた。</p> <p>2.8 ○認知力の向上を図ることを目的とした「ビジョントレーニング」ボードを作成し、廊下や体育館に掲示し、いつでもだれでも実施できる環境づくりを行った。</p> <p>●児童生徒の実態等を踏まえ、各学級や学年担当を中心に学習改善への手立てをとっているが、11年間の連続性のある学びの中で共通して実践する支援にも取り組む必要があると考える。</p> <p>●基礎・基本(漢字力・計算力)の定着を図り、学習の基盤を育み、学習の理解を深めていく必要がある。</p> <p>●諸学力調査問題の有効活用を図ることで、学習の確認、見届けを行い個々の授業改善に努める。</p>	3	3	<p>○個々の学習を大切に、普段から工夫された授業を展開していると思う。子どもが学ぶことを好きになることが理想だと思うため、先生方には頑張ってもらいたい。</p> <p>○デジター教科書や視聴覚教材の活用など、子どもの困り感への対応が重視され、校内検討委員会を通じた個別支援が連携を含めて進んでいる。</p> <p>○特別支援学級では、授業内容だけでなく、子どもたちがスムーズかつ集中して学びを進められるよう工夫されている。</p> <p>○諸学力調査問題の有効活用及び授業改善、基礎基本の育成、学習内容の理解を深めるための具体的なアクションが明示されており評価できる。</p> <p>○『ビジョントレーニング』ボードの導入は、認知力向上のための具体的な取組として好評である。</p>
4	学校は、子どもや保護者との対話を大切に支援を行っている。	3.6	3.2	3.9	<p>3.0 ○授業で、ペア学習や小集団での話し合い活動を意図的に取り入れたことで、自分の考えや思いを伝えることができる児童生徒が増えた。</p> <p>○学期1回の教育相談の実施や45分間の昼休み時間の中で、児童生徒とゆっくり対話をする機会を設け、児童生徒理解に努めた。</p> <p>○「ひなた場」において、「自分との対話」「他者との対話」の視点を大事にした地域の方々との対話を楽しむことができた。</p> <p>○スクールカウンセラーと連携し、児童生徒に係る諸問題の解決に向けて、組織的に取り組んだ。また、必要に応じて保護者の方との対話を行い、適切な対応をとることができた。</p> <p>●トークタイムや哲学対話で培ったコミュニケーション力を、今度は筋道をたてて相手にわかりやすく伝える力へとつなげていく必要がある。</p> <p>●道徳教育や人権教育の充実を図ることで、自尊感情の醸成や自己指導能力をさらに高めていく必要がある。</p>	3	3	<p>○学校は、子どもや保護者との対話を重視した支援をしており、これが学校全体の評価に寄与している。様々な学習形態の導入、教育相談や昼休みの対話機会等が生徒や保護者との信頼関係を深め、多角的な理解を促進している。</p> <p>○話し合い活動を積極的に取り入れることで、自分を表現することが上手くなった児童が増えたと思う。</p> <p>●学校側の思いや考えが、保護者に十分理解されていないと感じることもある。</p> <p>◎小さい学校だからこそできるやり方があるので、色々なやり方を試してもらいたい。</p> <p>◎今後の課題として、コミュニケーション力の更なる向上や児童生徒たちの個々の成長を促進していくことが期待される。</p> <p>総じて学校は、総合的かつ包括的なアプローチを通じて良好な対話環境を構築していると考えられる。</p>
5	学校は、ねらいを大切に教育を行っている。	3.5	3.3	3.7	<p>3.1 ○授業はもちろんのこと、諸活動において常に「問い」を明確に示し、何を学習するのかを押さえた授業を実践し、まとめの整合性を図った。</p> <p>○校外学習や体験学習では、地域の方の協力を得ることで、ねらいに迫った実りある学習を展開できた。</p> <p>○PDCAサイクル(計画・実行・評価・改善)を意識した教育活動の計画及び実践に取り組んだ。</p> <p>○教育活動のねらいを明確にし、活動内容の本質にせまることで、教育課程の精選及びより効果的な取組について協議を重ねている。</p> <p>●特に総合的な学習時間においては、11年間の連続性のある学びを再度整理し、育てていく4つの力を押さえた学習計画を練っていく必要がある。</p>	3	3	<p>○ねらいを明確にした授業実践及び地域と連携した学習を実践している。</p> <p>○PDCAサイクルを導入し、計画と実践を結びつけながら、教育活動が精選されている。特に、総合的な学習の時間では、11年間の連続性を踏まえて「4つの力」を重視した学習が展開されている。これらの取組は、学校全体のねらいを実現し、教育の質向上に寄与している。</p> <p>◎伝統文化の継承学習では、継承の背景等を含めもっと深く掘り下げた学習を展開するとよいと思う。</p>
6	学校は、必要な学校の情報を定期的に伝えている。	3.3	3.9	3.0	<p>3.0 ○学校運営協議会やPTA運営委員会等において、多角的な視点から話し合いを行い、互いの情報を共有することで、スムーズなPTA活動や学校行事へとつなげることができた。</p> <p>○学校便りや学級通信を定期的に発行し、情報を発信するように努めた。</p> <p>○「地域に発信する掲示」では、事務室と連携し地域の事業所に子どもたちの作品を掲示し学校発信をするとともに、返信箱を設置し、地域の方との双方向の発信を試みた。また、廊下やスペースを利用して、子どもたちの作品や決意表明を提示することで、全児童生徒の思いを伝える環境づくりに努めた。</p> <p>○5月の「運動会」や10月の「文化発表会」では、児童生徒が作成したポスターや防災無線で広報し、地域に学校公開をすることができた。</p> <p>●「働き方改革」「部活動の地域連携・移行」「教育課程編成」などと、教育活動に関わる情報については、情報発信を行い、保護者の方々への周知を図っていく。</p> <p>●ホームページによる定期的な情報発信が十分にできなかった。タイムリーな情報発信を行うとともにホームページのレイアウトや内容等の改善を図り、地域の方々や保護者の方々が見やすく、興味を抱くホームページづくりを目指す。</p> <p>●児童生徒数の減少に伴い、部活動の地域連携や地域移行を考えなければならない時期にきた。この現状を教師・子ども・保護者が共有し、互いの理解を得て、地域連携・移行を進めていく必要がある。</p>	3	3	<p>○学校は、学校運営協議会やPTA運営委員会を通じて情報を共有し、学校便りや学級通信などを定期的に発行している。地域発信の掲示(行事案内の手作りポスターを含む)や公開行事により、地域との双方向のコミュニケーションも図られている。また、教育活動に関わる情報も周知し、ホームページの改善に取り組むなど、様々な手段で必要な学校情報を十分に伝えていけると思われ。</p> <p>○昨年度に比べるとPTA役員会での内容が役員以外の保護者に伝わっていた。</p> <p>◎『部活動連携・地域移行』『教育課程編成』なども地域や保護者に積極的に発信して、地域で問題共有がはかれるようにしたいと思う。</p> <p>◎教員の評価の低さが昨年度より目立っている。学校(管理者)と教員の対話も必要なのではないかと感じる。</p> <p>●感染症の発生情報の発信について、早めに発信していただきたい。</p>